



TOHO IR Report

「鬼滅の刃」や「国宝」をはじめとする 当社配給作品の記録的ヒットが上期業績を力強く牽引 通期業績予想を上方修正し、3期連続の最高益を見込む

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第137期上期（2025年3月1日から2025年8月31日まで）の
業績等につきまして、ここにご報告申し上げます。

代表取締役社長
松岡宏泰



「中期経営計画 2028」の初年度となる第137期の上期業績は、映画事業の大幅な増収増益に加え、各事業が堅調に推移し、過去最高となりました。

映画事業においては、「劇場版『鬼滅の刃』無限城編 第一章 猗窩座再来」「国宝」が当初の予想を大きく上回る記録的な大ヒットとなったほか、「名探偵コナン 隻眼の残像（フラッシュバック）」「TOKYO MER 南海ミッション」「8番出口」や、東宝東和配給作品の「ミッション：インポッシブル/ファイナル・レコニング」「ジュラシック・ワールド/復活の大地」等の多くの作品がヒットし、業績に大きく貢献しました。その結果、東宝グループの国内配給作品の興行収入が歴代年間記録を史上最速で更新し、映画営業事業、映画興行事業共に大きく伸長しました。

IP・アニメ事業では、「ゴジラ」の商品化権が好調に推移したほか、「薬屋のひとりごと」「呪術廻戦」「僕のヒーローアカデミア」等のTOHO animation作品の配信権収入が引き続き貢献しました。

演劇事業においては、帝国劇場の一時休館中も、シアタークリエや外部劇場を活用し、

当社主催公演の回数確保に努めました。「ミュージカル『ナイツ・テイル -騎士物語-』ARENA LIVE」が大盛況を収めたほか、「ミュージカル『レ・ミゼラブル』ワールドツアー スペクタキュラー」の社外公演や、「舞台『千と千尋の神隠し』上海公演」等の話題作が好評を博しました。

不動産事業におきましても、全国に所有する不動産が堅調に稼働したことで増収となりました。

これらの結果、当社グループの第137期中間期決算は、営業収入1,916億7千7百万円（前年同期比17.1%増）、営業利益411億4千6百万円（同0.6%増）、経常利益421億9千2百万円（同6.1%増）、親会社株主に帰属する中間純利益334億5千万円（同26.3%増）と過去最高だった前年同期を上回りました。

なお、上期の業績上振れ等を踏まえ、通期の業績見通しを、営業収入3,600億円（修正前3,000億円）、営業利益650億円（同570億円）、経常利益655億円（同550億円）、親会社株主に帰属する当期純利益475億円（同435億円）と上方修正し、3期連続の最高益達成にチャレンジいたします。

下期は、細田守監督の4年ぶりの最新作「果てしなきスカーレット」をはじめ、当社幹事作品である「ロマンティック・キラー」「恋愛裁判」「ほどなく、お別れです」の公開が控えております。アニメにおいても「呪術廻戦」「葬送のフリーレン」といった話題作の新シリーズも予定しております。また、GKIDSが「国宝」「呪術廻戦」等の北米配給を予定しています。加えて、当社グループは2026年より米ワーナー・ブラザーズの洋画作品の国内劇場配給を手がけることとなりました。こうした取り組みを通じ、東宝グループとして引き続き成長できるよう、より一層努力してまいります。

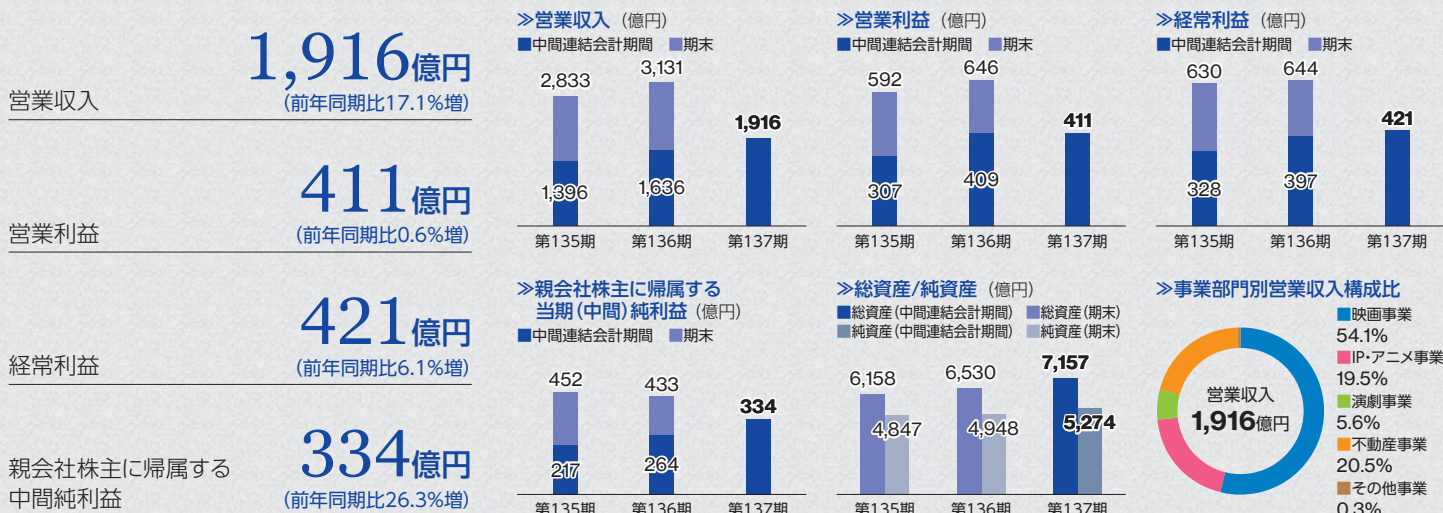
10月には東宝グループの理念体系を刷新し、グループ・スローガン「Moments for Life その時間が、人生の力になる。」、グループ・パーパス「心を揺り動かし、人生の力となる時間を届け、人々の幸福に貢献する」を新たに策定しました。新スローガンのもと、パーパスの実現に向けて国内外のグループ一丸で経営を推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

Financial Highlights 連結財務ハイライト

より詳しい財務情報は当社IRサイトをご覧ください。

アドレスはこちら>><https://www.toho.co.jp/company/ir/>



Coming Soon

公開予定作品および公演予定作品

当社グループは、下記の作品をはじめとする幅広いラインナップを通して皆様に笑顔をお届けできるよう、努めてまいります。

映画事業



ロマンティック・キラー
12月12日(金)公開
©2025「ロマンティック・キラー」製作委員会
©百世渡／集英社



恋愛裁判
2026年1月23日(金)公開
©2025「恋愛裁判」製作委員会

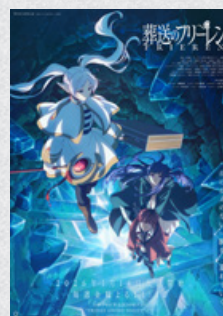


Mr.ノーバディ2
公開中
© 2025 UNIVERSAL STUDIOS

アニメ事業



アニメ「呪術廻戦 死滅回游 前編」
2026年1月8日放送開始
毎週木曜深夜0時26分 MBS/TBS系
©芥見下々／集英社・呪術廻戦製作委員会



アニメ「葬送のフリーレン」第2期
2026年1月16日放送開始
毎週金曜よる11時 日本テレビ系
©山田鍾人・アベツカサ／小学館／「葬送のフリーレン」製作委員会



ミュージカル「エルザベート」
10月～11月
東急シアターオーブ

映画事業

当期提供予定映画作品

東宝 配給作品

- ・ブラック・ショーマン
- ・劇場版「チェンソーマン レゼ篇」
- ・沈黙の艦隊 北極海大海戦
- ・秒速5センチメートル
- ・「劇場版 呪術廻戦 0」復活上映
- ・もののけ姫 (4Kデジタルリマスター)
- ・劇場版 呪術廻戦「渋谷事変 特別編集版」×「死滅回游 先行上映」
- ・平場の月
- ・果てしなきスカーレット
- ・ロマンティック・キラー
- ・新解釈・幕末伝
- ・劇場版「緊急取調室 THE FINAL」
- ・恋愛裁判

TOHO NEXTレーベル

- ・ほどなく、お別れです
- ・映画「教場 Requiem (レクイエム)」
- ・映画ドラえもん 新・のび太の海底鬼岩城

演劇事業

当期提供予定演劇作品

シアタークリエ

- ・ミュージカル「ジャージー・ボーイズ」
- ・音楽劇「エノケン」
- ・ミュージカル「バグダッド・カフェ」
- ・Yuichiro & Friends 2
- ・ミュージカル「ダディ・ロング・レッグズ」
- ・上演15周年記念公演「ピアフ」
- ・2時22分 ゴーストストーリー

外部公演

- ・ミュージカル「四月は君の嘘」
- ・ミュージカル「Once」

- ・ミュージカル「のだめカンタービレ」シンフォニックコンサート!
- ・ミュージカル「SPY×FAMILY」
- ・CLUB SEVEN another placeII
- ・ミュージカル「エルザベート」
- ・ミュージカル「マタ・ハリ」
- ・キャッシュ・オン・デリバリー
- ・ミュージカル「十二国記 -月の影 影の海-」
- ・大地の子
- ・ミュージカル「レイディ・ベス」

Topics

トピックス

東宝グループの理念体系を刷新 グループ・スローガンを制定

近年の経営環境や事業構造の変化とグローバルなエンタテインメント市場の拡大を見据え、このたび、従来の企業理念を見直し、東宝グループ全体を包含する新たな理念体系を制定いたしました。

新たな理念体系では、創業者・小林一三が遺した「朗らかに、清く正しく美しく」「健全な娯楽を広く大衆に提供すること」「我々の享くる幸福はおお客様の賜ものなり」を企業理念の礎として再確認するとともに、グループの未来に向けた羅針盤として、グループ・スローガン「Moments for Life その時間が、人生の力になる。」、グループ・パーパス「心を揺り動かし、人生の力となる時間を届け、人々の幸福に貢献する」を新たに策定いたしました。

当社グループは、この新スローガンのもと、パーパスの実現に向けて、国内外のグループ一丸で事業の持続的成長と、より一層の企業価値向上を目指してまいります。



株式の状況 (2025年8月31日現在)

発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式の総数	176,000,000株
	(自己株式6,428,271株を含む)
株主数	38,619名
	(前期末比5,856名増)

株式事務のご案内

株主名簿管理人	東京都府中市日鋼町1-1	三菱UFJ信託銀行株式会社	証券代行部
事務取扱場所			
(郵便物送付先)	〒137-8081	新東京郵便局私書箱第29号	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120-232-711	(通話料無料)	

*証券会社で株を保有されている株主様は、ご利用の証券会社にお問い合わせください。

東宝株式会社

〒100-8415 東京都千代田区有楽町一丁目2番2号
<https://www.toho.co.jp/>



見やすい
ユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。